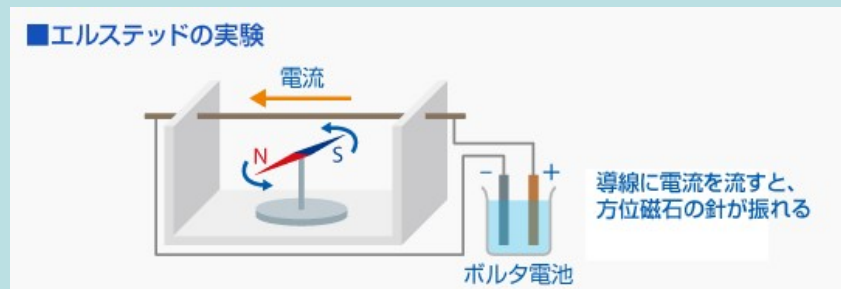


エルステッドの電流の磁気作用の発見(1820)



Hans Christian Oersted
1777-1851

1820年、エルステッドが学生にボルタの電池を使った実験を行っている時、偶然に電線近くに置いてあった磁石の針金が動いた。



電気と磁気の相互作用を発見したエルステッドの論文は欧州の学会に大きな反響を呼ぶ。



無通電時、コンパスのN極は北を指す。



通電(電流3A)時、コンパスのN極は北から大きくずれる



電気により磁気が発生し、全く別の物理現象と思われていた電気と磁気が結びついた